

令和元年度対ボツワナ草の根・人間の安全保障無償資金協力

「東モヘンボ村小学校建設計画」引渡式の実施

在ボツワナ日本国大使館

令和5年5月19日

令和5年5月16日、令和元年度対ボツワナ草の根・人間の安全保障無償資金協力「東モヘンボ村小学校建設計画」の引渡式が、在ボツワナ日本国大使館の姫野二等書記官、被供与団体代表のノースウェスト地区評議会オカバンゴ地域支部関係者、同校児童、村民及び来賓その他関係者の出席の下、東モヘンボ村小学校敷地内にて行われました。

本計画は、首都ハボローネから北西に約1,148km、マウン市街から車で5時間ほどの場所に位置する東モヘンボ村において、小学校(1階建て教室、職員室、保健室、トイレ、ベランダ)を建設し、村内の低学年児童に対し、良好な教育環境を提供することにより、地域内での教育格差是正に寄与することを目的としています。

引渡式において、姫野書記官は、教育の質は、子どもたちの暮らしの中で最も重要な事項の一つであり、あらゆる人たちが質の高い教育を受け、優れた教育施設にアクセスできるようにする必要があること、また、これを達成するために、日本政府は10km以上離れた別の村の小学校に通学していた東モヘンボ村の子どもたちのために、低学年児童が安全に通うことができる村内の小学校建設を支援したことを説明しました。また、同村の低学年児童が安心して学ぶ環境が整ったことで、児童の学習パフォーマンスが向上し、同小学校が教育に携わるコミュニティ関係者の拠り所となることを期待する旨、述べました。



(写真) 式典出席者との集合写真



(写真) 供与した東モヘンボ村小学校